

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	防災訓練強化事業		
事業担当	防災危機管理部 災害対策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等	平塚市地域防災計画		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
自主防災組織や防災関係機関などによる実践的な訓練を実施し、自分たちの地域は自分たちで守る防災活動に取り組んでいます。		防災力の向上のため、自主防災組織や防災関係機関等が、災害時に迅速かつ的確な防災活動を行うことができるよう、実践的な防災訓練を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	防災訓練等実施回数			単位	回
	説明・算定式	自主防災組織等による訓練等実施回数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			240	240	
	実績			233		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	自主防災組織と地域団体が連携した訓練を実施した回数			単位	回
	説明・算定式	(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			60	70	
	実績			24		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
総合防災訓練では、より多くの市民が参加できるようにシェイクアウト訓練を実施したほか、自主防災組織には訓練内容の提案をしていく等、災害時に最も必要な地域の防災力の強化と個人の防災意識の高揚を図りました。また、津波対応訓練や災害多言語支援センター設置訓練、帰宅困難者対策訓練等の訓練を実施し、連携の強化を図ることができました。						
平成24年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実践的な防災訓練を実施することで、市民の防災意識を向上することは、被害を軽減するために必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	防災訓練を通じて、自主防災組織の機能の確認や、実効性を検証することで、自主防災組織活動の円滑化が図れます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民一人一人が日常及び災害発生時に「自らが何をすべきか」を考え、災害に対して十分な準備を高めることができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民、自主防災組織を対象にした訓練を見直し、災害による被害を軽減するため、災害時に自主防災組織が主導的な活動ができるようにします。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		災害時に自主防災組織が主導的な活動ができるように、実践的な訓練内容の提案や支援が必要であり、訓練や研修等のあり方の見直しや、より実践的、効果的な訓練計画の検討を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		自主防災訓練、土砂災害対策訓練等の実施	自主防災訓練、土砂災害対策訓練等の実施	関係機関と連携を図った自主防災訓練、津波避難訓練等の実施	関係機関と連携を図った自主防災訓練、津波避難訓練等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	277	284	219	2,577
事業費 (A)		277	284	219	2,577
執行率 (%)		80.29	83.53	83.59	
内訳	職員 (人)	1.15	1.15	1.45	2.55
	再任用 (人)	0.30	0.30	0.70	0.45
人件費 (B)		10,521	10,328	14,004	21,799
フルコスト (A+B)		10,798	10,612	14,223	24,376

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	自主防災組織を主体とした実践的、効果的な訓練を各地域で実施することにより、自主防災組織体制の実効性を検証し、災害時に個人として、また、自主防災組織として何ができるかを確認し、それぞれの防災力のレベルアップを図ります。
課長コメント	災害時に市民及び自主防災組織が迅速かつ確かな防災活動が行えるよう、日頃から実践に即した訓練を実施し、行政、関係機関との連携を図っていきます。